

みずほCustomer Desk Report 2019/07/04 号(As of 2019/07/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.71
TKY 9:00AM	107.83	1.1291	121.73	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	107.92	1.1312	121.81	1.2595	0.6994
SYD-NY Low	107.54	1.1268	121.32	1.2600	0.7039
NY 5:00 PM	107.85	1.1277	121.60	1.2557	0.6986
NY DOW	26,966.00	179.32	日本2年債	-0.2200	0.00bp
NASDAQ	8,170.23	61.14	日本10年債	-0.1600	▲2.00bp
S&P	2,995.82	22.81	米国2年債	1.7626	0.03bp
日経平均	21,638.16	▲116.11	米国5年債	1.7360	▲0.66bp
TOPIX	1,579.54	▲10.30	米国10年債	1.9524	▲2.25bp
シカゴ日経先物	21,705	▲5	独10年債	-0.3865	▲1.75bp
ロンドンFT	7,609.32	50.13	英10年債	0.6905	▲3.00bp
DAX	12,616.24	89.52	豪10年債	1.2945	▲4.50bp
ハンセン指数	28,855.14	▲20.42	USDJPY 1M Vol	6.08	0.09%
上海総合	3,015.26	▲28.68	USDJPY 3M Vol	6.07	0.04%
NY金	1,420.90	12.90	USDJPY 6M Vol	6.33	0.05%
WTI	57.34	1.09	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	180.48	2.63	EURJPY 3M Vol	6.32	0.15%
ドルインデックス	96.77	0.04	EURJPY 6M Vol	6.74	0.07%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月3日	17:00	欧 マークイットPM(サービス業/コンボジット)	6月 53.6/52.2	53.4/52.1
	21:15	米 ADP雇用統計	6月 102k	140k
	21:30	米 貿易収支	5月 -\$55.5b	-\$54.0b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	223k
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	5月 -1.3%	-1.3%
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	6月 55.1	56.0

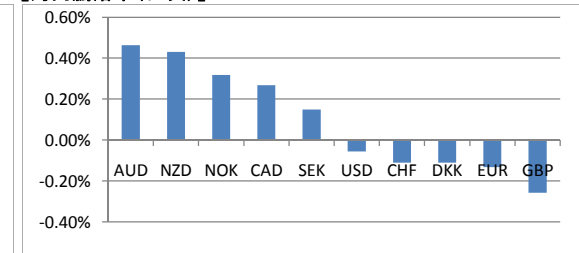
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月4日	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	5月 0.3%/1.6%	-0.4%/1.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.40-108.10	1.1250-1.1310	121.00-122.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は行って来いの展開となった。FRB理事にハト派メンバーが加わる見通しを受けて債券買いが進行、米長期金利が低下し2016年11月以来の低水準となった。ドル円も107.54円まで下落したものの、下値を追う展開とはならず107円台後半で底堅く推移。その後米経済指標の弱い結果を受けて弱含む場面が見られたが、米株式市場が好調に推移、米株3指標が最高値を更新し、ドル円は小幅に水準を上げて107円台後半まで上昇。終盤は翌日に米国祝日を控えた閑散相場となり、107.85レベルで取引を終えた。

本日のドル円は動意薄の展開を予想。米独立記念日の祝日で米市場は休場となっており、市場参加者は少なくなっている。特段取引材料の無い中で、ドル円は方向感無く推移するものと考え。

東京	東京時間のドル円は107.83レベルでオープン。アジア時間早朝にトランプ米大統領がFRB理事にハト派と見られるクリスティーナ・ウォー氏とジェディ・シュルト氏を指名したと伝わっていた事を背景に、米金利が1.95%を割り込む水準まで低下し、ドル円は107.54まで下落した。その後は狭いレンジでの推移となり、107.61レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.61レベルでオープン。翌日に米独立記念日を控えて市場参加者が少ない中、方向感に乏しい値動き、107.59から107.76の狭いレンジで推移し、107.67レベルでNYに渡った。ボンドは、1.2573レベルでオープン。英6月総合PMI・サービスPMIとともに市場予想を下回り、総合PMIは49.7と節目の50割れ。直後、英金利は低下で反応するも、為替の反応は鈍く、終日小動き。1.2557から1.2582のレンジで推移し、1.2577レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	ドル円は107.67レベルでNYオープン。朝方は米6月ADP雇用統計が予想を下回ったことにドル売りで反応し、107.57まで下落。しかし、ダウ先物が堅調に推移する中、売りは長続きせず、107.81まで反発。10時発表の米6月ISM非製造業景況指数が予想を下回ると再び売りに押され、その後、トランプ大統領の「中国と欧州は大きな為替操作ゲームを行っている」との発言が伝わり、107.65まで下落。午後はダウ平均が史上最高値を更新する中、ドル円は海外時間高値となる107.88まで上昇。明日に米国の祝日(独立記念日)を控える中、次第に閑散取引となり、107.85レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロは1.1290近辺での小動きでスタート。その後、独10年債利回りが過去最低水準まで低下したことが嫌気され、一時1.1268まで下落する。朝方は1.1290近辺でもみ合い。その後、トランプ大統領が欧州が為替操作を行っていることと非難したことを受けて、ユーロが買いが強まり、一時1.1312まで上昇するが、空白時間は短く、1.12台まで売り戻される。午後は米株の堅調推移にドル買いが進み1.1272まで下落。終盤は1.1280付近で小動きとなり、結局、1.1277レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 岡本・小笠原